

クマ モト ケン  
**熊本県**



蒲島 郁夫 知事

平成28年に発生した熊本地震から6年が経過しました。これまでの応援・御支援、本当にありがとうございます。

熊本県は、新型コロナウイルスの感染防止と社会・経済活動の回復、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興と共に「新しいくまもとの創造」に向けて、全力で取り組んでいます。

お寄せいただいた御寄附は、創造的復興をさらなる発展につなげ、地方創生を実現するための様々なプロジェクトに活用させていただきます。

熊本県に温かいお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

**人口**

総人口… 1,746,740人  
男… 825,456人  
女… 921,284人  
世帯数… 724,654世帯

**人口構成比**

15歳未満… 13.4% (233,212人)  
15～64歳… 55.6% (970,978人)  
65歳以上… 31.0% (542,550人)

**教育機関**

小学校… 347校  
中学校… 172校  
高等学校… 73校  
大学・短大・高専… 12校

**面積**

総面積… 7,409km<sup>2</sup>  
農用地… 1,116km<sup>2</sup> (15.1%)  
森林… 4,609km<sup>2</sup> (62.2%)  
宅地… 376km<sup>2</sup> (5.1%)

**産業構造**

第1次産業… 4,218 (4.2%)  
第2次産業… 30,854 (30.5%)  
第3次産業… 66,135 (65.3%)

生産総額：億円

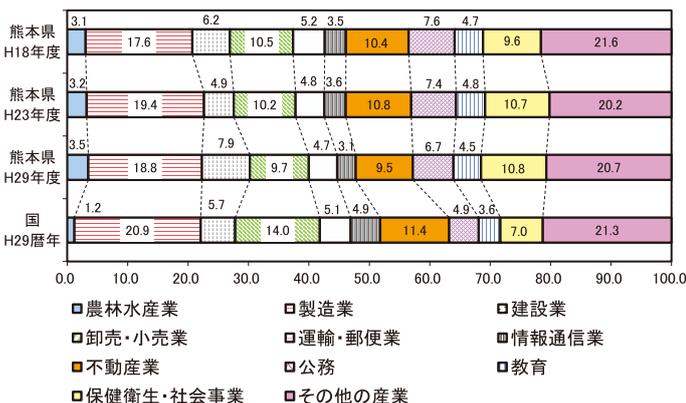
※出典：令和2年(2020年)統計年鑑  
※出典：平成27年(2015年)熊本県産業連関表



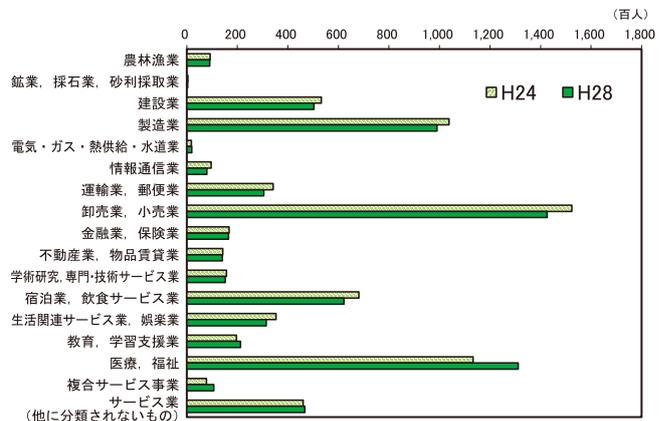
**交通アクセス**

■熊本県庁まで  
九州自動車道 熊本ICから… 約10.0km  
JR 熊本駅から… 約5.4km  
阿蘇くまもと空港から… 約14.0km

**産業構成比の推移と国・県の比較**



**熊本県の産業別従業者数(民営)**



※出典：令和2年度(2020年度)版熊本くらしの指標100

## ▶▶▶ 熊本県

# 熊本県まち・ひと・しごと 創生推進計画



分類 県政全般

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費

計画期間

2020年4月1日～2024年3月31日

数値目標

- 県民総幸福量……………70ポイント
- 2023年の社会減……………1,950人
- 2023年までの4年間の出生数  
……………59,710人

## ●基本目標1 県民が夢と誇りを持ち安心して暮らし続ける熊本の創造

熊本地震や豪雨災害で被災した方々の住まいやコミュニティの再建等に確実に取り組むとともに、災害に強い郷土づくりを進めます。

また、感染症対策や医療提供体制、地域での見守り体制等の充実を図り、子供や高齢者、障がい者など、誰もが安心して住み続けたいと思う熊本の実現を目指します。

さらに、子供を安心して産み育てられるよう、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援の充実を図ります。

## ●基本目標2 熊本に活力を生む産業の復活・発展と、魅力ある雇用の創出

熊本地震や豪雨災害で被災した地域企業や、新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けた産業界に寄り添った支援を行うことにより、県経済の復活と力強い発展につなげます。

また、本県の特長を活かした企業誘致や新たな事業の創出・起業を促進し、若者が働きたいと思う魅力的な雇用を創出します。

## ●基本目標3 熊本への人の流れの加速化、つながりの構築

地域の活力の維持・発展につなげるため、県内企業の魅力発信等によるUIターンや若者の定着、県外から県内地域への移住・定着を促進します。

また、新型コロナウイルス感染症による社会の変容に伴い、地方への関心が高まっており、この機を捉え、市町村等と連携し、自然や歴史・文化等の地域資源を活かし、国内外からの交流人口や、継続的に多様な形で熊本に関わる関係人口の拡大を図ります。

## ●基本目標4 新しい時代の流れと多様な人材の活躍による熊本の発展の加速化と魅力の向上

SDGsを原動力とした地方創生の推進や、未来技術を活用したSociety5.0の実現により、地域課題の解決や地域の魅力向上を図り、「誰一人取り残さない」持続可能な社会づくりにつなげます。

また、女性、高齢者、障がい者、外国人など、多様な人々が活躍する環境づくりを進め、豊かで魅力あふれる社会の実現を目指します。

# 1. 令和2年7月豪雨からの創造的復興

## (1) 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

- すまい・コミュニティの創造 ●なりわい(生業)・産業の再生と創出
- 災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり
- 地域の魅力の向上と誇りの回復

## (2) 県内全域で取り組む 災害に強い郷土づくり

- 国土強靱化に向けた取組み
- 幹線道路の整備



仮設団地 (球磨村)



鉄道の復旧



河道掘削 (川辺川)の様子 (相良村)



旅館の再開 (人吉温泉)

# 2. 新型コロナウイルス感染症への対応

## (1) 感染症対策の体制強化

- 感染拡大防止対策及び相談・検査体制等の確保
- 持続的な医療福祉サービス提供等に向けた体制確保

## (2) 持続可能な社会の実現

- 生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止
- Society5.0の実現に向けたDXの推進
- 熊本への人の流れの創出(関係人口、移住定住)

## (3) 持続可能な経済活動の実現

- 企業や雇用の維持及び労働環境の整備(テレワーク、UIJターン、多様な人材)
- 新しいビジネスの創出 ●農林水産業の持続的発展
- 新たな観光スタイルの確立(スマートツーリズム、ワーケーション等)



©2019 熊本県くまセン

UIJターン就職支援

## ▶▶▶ 熊本県

## 3. 熊本地震からの創造的復興

## (1) 暮らし・生活の再建

- 「すまい」の再建、被災企業の事業再建

## (2) 創造的復興の推進

- 益城町の復興まちづくり
- くまもとの誇りの回復と宝の継承(熊本地震震災ミュージアム)
- 阿蘇地域の振興
- 「大空港構想」の実現

熊本地震震災ミュージアム中核拠点(旧東海大学阿蘇キャンパス)



震災遺構(旧阿蘇校舎1号館・地表地震断層)



2023年度・中核拠点内にオープン予定の体験・展示施設イメージ(右奥は震災遺構)

## 4. 将来に向けた地方創生の取組み

## (1) 次世代を担う人材の育成

- きめ細かな教育による学力の向上
- グローバル人材の育成 ●魅力ある学校づくり

## (2) 若者の地元定着と人材育成

- 若者の地元定着 ●産業人材の確保・育成

## (3) 安全・安心な社会の実現

- 子供を安心して産み、育てられる環境整備
- 誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会の創造

## (4) 魅力ある地域づくり

- 交通体系の最適化 ●持続可能な地域づくり
- スポーツ・文化による地域活性化



◎2010 熊本県くまモン  
若者の地元定着(プライト企業)



持続可能な地域づくり(CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ)